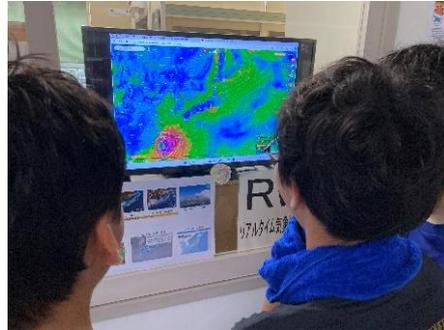
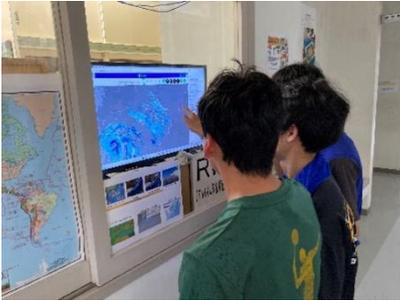


◆紹介 物理・地学準備室前 気象モニターの設置



や部活動生が「台風の動き」や、「雨雲レーダー」を確認にして練習計画を立てております。授業で学んだことを確認する実践の場にもなっております。常日頃から、身近な気象現象について、興味を持ち、突然起こる災害に対して柔軟に対応し命を守ることは、大切なことだと思います。

◇令和 6 年度 スーパーサイエンスハイスクール
「生徒研究発表会」 会場 神戸国際展示場

育て! 未来の研究者

地学準備室の前に、気象情報モニターを設置しております。モニターには「天気図」「風向・風速」「気象レーダー」「全国の天気予報」「リアルタイム震度」「桜島ライブカメラ」が表示され、最新の情報をチェックすることができますようになっています。台風シーズンを迎え、生徒



8 月 7 日、8 日神戸国際展示場において、生徒研究発表会が行われました。向陽高校は、「青パパイヤの種や皮の美容効果」の研究テーマでポスター発表を行いました。全国の SSH 指定校が一同に集まり発表会を開催しました。総発表数は 231 点（数学・情報

32 校、物理・工学 44 校、化学 50 校、生物 A44 校、生物 B37 校、地学 24 校）で、互いの発表を聞き質問をするなど、深い学びあいと研究発表の場となりました。 **生徒の感想**：雪の積もり方についての研究を聞いたときに、日常の中で自分の不思議に思ったことを研究の題材にしていたり、研究の中で自分の可能な範囲でより精度の高い実験方法を考えていたことなどから様々なことに興味をもつことや発想力が研究に携わるときに軸となる力になると思った。日常生活の一部に着目してテーマを設定している班が多かった。7 分という制限時間内に、分かりやすく説明するのは結構難しかったが、発表を聞いてくださった他校の先生方から、より分かりやすくなるよ

うな発表の仕方や、グラフや表の配置の仕方のアドバイスを頂いたり、実験方法についてのアドバイスもたくさん聞けて、とてもいい経験になりました。他校の生徒の発表もたくさん聞くことが出来て、とても勉強になることが多かったです。準備の段階で感じたこととしてはチーム内で研究の疑問点などをちゃんと共有すること。また発表について他校の発表を聞いて形式ばったものではなく、よりわかりやすいものにするための工夫で研究の伝わり方が大きく変わってくると感じた。当日の発表に関しては、緊張しましたが、リハーサルを重ねたおかげで、伝えたいことをしっかり伝えられたと思います。ただ、質疑応答の場面では想定外の質問に戸惑うことがあり、今後の課題として改善していきたいです。他校との交流では、異なる視点やアイデアに触れることで、自分の考え方が広がり、今後の学びに活かせるヒントを得ることができました。特に、他校の生徒が行った発表の内容やプレゼンテーションの方法には、参考になる点が多くありました。